

プルダウンリストから、天然ウラン、劣化ウラン、トリウムのいずれかを選択します。
 複数の核燃料物質を使用する場合は、セル毎に選択します。
 一種類のみの場合は、空白のセルに-を記入します。

プルダウンリストから、上期、下期のいずれかを選択します。

供給当事国は、国際規制物資使用許可申請書時に記載した国名を記載します。
 多くの場合、「その他」と記入しますが、昭和52年以前に許可を得た事業者等、許可取得時に、国名を記載した事業者については、国名を申請書に基づき記入します。

プルダウンリストから酢酸ウラニル、酢酸ウラニル亜鉛、硝酸ウラニル（六水塩）、硝酸ウラニル（四水塩）、塩化ウラニル、二酸化ウラン、三酸化ウラン、八酸化三ウラン、金属ウラン、硝酸トリウム（六水塩）、硝酸トリウム（四水塩）、酸化トリウム、金属トリウム、その他（ ）のいずれかを選択します。

プルダウンリストに記載しようとする化合物、又は混合物の名称がない場合は、自由記載も可能です。

⑥消費・廃棄又は損失：消費、損失等による減少があれば、この欄に記入します。

⑦事故損失：事故による損失が発生した場合には、この欄に記入します。

年 期 核燃料物質管理報告書

〇〇年〇〇月〇〇日

原子力規制委員会 殿

住 所 代表（本社）の住所
 名 称 法人名
 代表者氏名 代表者の役職名 代表者の氏名

核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第1項及び国際規制物資の使用等に関する規則第48条第19項の規定により、次のとおり報告します。

工場又は事業所	名 称	核物質を扱う事業所（正式名称）		
	所 在 地	*000-0000 事業所の住所		
核燃料物質計量管理区域(MBA)の符号		K〇〇〇		
事務上の連絡先	名 称	連絡可能な連絡先名称		
	所 在 地	*000-0000 連絡可能な連絡先		
		電 話 番 号	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇	
		電子メールアドレス	XXXX@.jp	
	報告書の作成者の氏名	報告書の作成者の氏名	所属部署 所属部署	
核燃料物質の区分		-	-	-
供給当事国		-	-	-
化合物又は混合物の名称		-	-	-

() 内は化合物又は混合物の重量を表す。

事 項	数 量 [単位: g]			
① 期 首 在 庫	- (-)	- (-)	- (-)	
期 中 増 加	② 受 入 入 入 入	-	-	-
	私出工場又は事業所名及びMBA符号・受入年月日	MBA: - 年月日	MBA: - 年月日	MBA: - 年月日
		- (-)	- (-)	- (-)
	③ その他の増加	- (-)	- (-)	- (-)
④ 増加の計(②+③)	- (-)	- (-)	- (-)	
期 中 減 少	⑤ 払 出 出 出 出	-	-	-
	受入工場又は事業所名及びMBA符号・払出年月日	MBA: - 年月日	MBA: - 年月日	MBA: - 年月日
		- (-)	- (-)	- (-)
	⑥ 消費・廃棄又は損失	- (-)	- (-)	- (-)
	⑦ 事故損失	- (-)	- (-)	- (-)
⑧ その他の減少	- (-)	- (-)	- (-)	
⑨ 減少の計(⑤+⑥+⑦+⑧)	- (-)	- (-)	- (-)	
⑩ 期 末 在 庫	- (-)	- (-)	- (-)	

①期首在庫：前期核燃料物質管理報告書の期末在庫をそのまま記入します。初めて報告する場合には、在庫なしを表す「-」を記入します。

②受入れ：相手先の名称及びMBA符号を「私出工場又は事業所名」の欄に記入し、その右側に受け入れた年月日ごとに受け入れた数量を記入します。

③その他の増加：以下の計算で値が正となった場合には、この欄に記入します。
 $10 - (1 + 4 - 9) > 0$
 また、事故増加の場合もこの欄に記入します。その際、余白部に「事故増加」と記入します。

④期中増加の計：②+③

⑤払出し：相手先の名称及びMBA符号を「受入工場又は事業所名」の欄に記入し、その右側に払い出した年月日ごとに払い出した数量を記入します。

⑧その他の減少：以下の計算で値が負となった場合には、この欄に記入します。
 $10 - (1 + 4 - 3) < 0$

⑨期中減少の計：
 $5 + 6 + 7 + 8$

⑩期末在庫：報告対象期間の最終日における在庫量を記入します。